

ひとtoひとのフォーラム足利2021

令和3年12月4日(土曜日)開催予定

人権週間(12月4日～12月10日)の間の土曜日に、例年実施している「ひとtoひとのフォーラム足利」は、今年も新型コロナウイルスに負けず、開催します。

今年度も、人権に関する書道・ポスター・作文コンクールの入賞作品の表彰式と、映画「荒野に希望の灯をともし ～医師・中村哲 現地活動35年の軌跡～」の上映会や映画監督のトークを行う予定です。昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染症への対策として、足利市民プラザ小ホールでの参加については、広報紙「あしかがみ11月号」に掲載されましたとおり、事前申込制となっています。

なお、同時開催のコンクール入賞作品展示ギャラリー(西館401号室:11時30分～16時30分)は、事前の申込みは不要です。皆さんのお越しをお待ちしております。

ご注意

新型コロナウイルス感染症に関連して、このイベントは中止・変更の可能性があります。国・県や本市の方針で、開催直前の変更なども考えられますので、当日の実施の可否については、市ホームページを必ずご確認くださいませますよう、お願い申し上げます。

人権啓発活動紹介⑥

小学生人権書道コンテスト・人権啓発ポスターコンテストについて



「足利市」及び「足利人権擁護委員協議会足利部会」では、人権に関する書道やポスターについて学校を経由して募集しています。

毎年、「ひとtoひとのフォーラム」のギャラリーに入賞作品の展示をしています。フォーラム当日は、優秀賞以上の受賞者を招いて表彰式を行っています。

※今年度の募集は終了しました。

足利市人権啓発ポスターコンテスト 最優秀賞 受賞作品 [令和3年度]



富田小学校 2年 茂呂 一徹



富田小学校 4年 茂呂はな乃



桜小学校 6年 赤坂蒼太郎



坂西中学校 2年 小島 凜恩

題字の「おもいやり」とは

「足利市には日本遺産・足利学校があります。そして学校には論語があり、今、小学生たちも論語の素読をしています。その論語の中に「恕」*の言葉があります。足利市民は互いに認め合い、思いやり、住み良い、明るい街にしていきたい」との思いから名づけられました。

*「恕」…「思いやり」のこと。

「子貢問いて曰わく、一言にして以て終身之れを行うべき者有りや、と。子曰わく、其れ恕か。己の欲せざる所、人に施すこと勿かれ、と。」

(書き下し文：足利市教育委員会編集・発行「論語抄」から)